

京慢協発 8-004  
私病協発 8-103  
令和 8 年 5 月 11 日

会 員 各 位  
看 護 部 長 様

京 都 府 慢 性 期 医 療 協 会  
会 長 清 水 紘  
一 般 社 団 法 人 京 都 私 立 病 院 協 会  
会 長 武 田 隆 久

京都府慢性期医療協会・京都私立病院協会 共催

## 第 11 回 病院看護師のための認知症ケア講座 開催のご案内

我が国における認知症高齢は、2040 年には約 950 万人に上ると言われ、認知症は誰にとっても身近な疾患です。

認知症対策は喫緊の課題であり、特に病院においては身体疾患を有する認知症患者への対応力の向上が求められています。こうした背景を受け、平成 28 年度診療報酬改定で新設された「認知症ケア加算」は、令和 2 年度診療報酬改定において評価体系が 2 段階から 3 段階へと見直され、病院における認知症ケアの向上に向けた取組が評価されるようになりました。

特に看護師は認知症ケアの要であり、本年度で第 11 回目となる標記講座も、認知症への理解を深め、認知症を有する方と向き合い、多職種のチームでより良いケアを提供できるよう、看護師に焦点を絞った研修を実施いたします。京都府内における認知症ケアの向上・推進のため、会員施設におかれましては、ぜひ奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、本研修を修了された看護師は、診療報酬上の「認知症ケア加算 2・3」の施設基準に該当することを申し添えます。

— 記 —

- 日 程 令和 8 年 9 月 7 日 (月) 9:45~16:50  
8 日 (火) 10:00~15:30 **※両日受講必須**
- 場 所 ラボール京都 2 階ホール (京都市中京区壬生仙念町 30-2)
- 対 象 京都府慢性期医療協会及び京都私立病院協会会員病院に従事する看護師  
\* 准看護師は対象になりません。  
\* 会員病院の関連の介護・福祉施設・事業所にご所属の看護師は対象になりません。
- 定 員 144 名
- 参加費 無料
- 研修プログラム **別紙**の通り
- 申 込 京都私立病院協会ホームページの「研修会・イベント申込」より **6 月 5 日 (金) まで**  
**にお申し込み下さい。**後日、連絡担当者宛に受講決定通知及び参加証を送付します。  
なお、**定員に達し次第、締め切らせていただきます。**
- \* 上記 2 日間両日の受講が必要です。修了された方には、修了証書を発行いたします。
  - \* 本研修を修了された看護師は、診療報酬上の「認知症ケア加算 2・3」の施設基準に該当する看護師となります。
  - \* 遅刻・早退・中抜けの場合、いかなる理由があっても修了証書は発行いたしかねます。

以上

(別紙)

## 第11回 病院看護師のための認知症ケア講座 プログラム

【1日目 令和8年9月7日(月) 開始9:45 終了16:50】 (講師敬称略)

時刻	所要時間	内容
9:45~9:55	10分	開講挨拶・事務連絡
9:55~10:10	15分	<b>「新たな地域医療構想について」</b> <b>解説 京都府健康福祉部 医療課より</b> 京都府における将来の医療需要や、医療機能の分化・連携の推進などを踏まえ、地域医療構想が目指す医療提供体制の方向性と、医療機関が主体的に取り組むべき課題を理解しよう。
10:10~12:40	150分 講義 及び 演習  *演習前 休憩 10分含む	<b>「入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術」</b> <b>講師 仕明真理子(認知症看護認定看護師・京都岡本記念病院)</b> 認知症の人に適切な看護を提供するためには、そのファーストステップとして、アセスメントをもとにケアプランを立てることが必要であろう。そのため知っておかなければならないこと、見落としはならないことは何かを考えよう。 <b>(演習)</b> 認知症の人に対するアセスメントの情報として求められているものは何か、また、必要な援助技術は何かを考える。
12:40~13:40	60分 *セミナー 30~40分	ランチョンセミナー(大塚製薬株式会社協賛) <b>『「BPSDへの向精神薬使用ガイドライン」第3版への改定について —認知症BPSDに対するレキサルティの役割—』</b> <b>講師 澤田親男(京都市認知症疾患医療センター 北山病院)</b>
13:40~15:10	90分 講義	<b>「認知症の原因疾患と病態・治療」</b> <b>講師 澤田親男(認知症サポート医・北山病院)</b> 看護師も医師とともに、認知症の症状を引き起こす原因疾患に向き合うことが認知症ケアの基本となる。認知症の予防や治療により進行を遅らせることも含め、認知症疾患そのものを知ろう。
15:10~15:20	10分	休憩
15:20~16:40	80分 講義	<b>「認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援」</b> <b>講師 大矢 希(認知症サポート医・京都第二赤十字病院)</b> 身体拘束が認知症の人に与える影響、エンドオブライフの意思確認など、患者、家族の視点に立ちサポートすることを考えよう。
16:40~16:50	10分	アンケート記入・事務連絡

※次頁に続く

【2日目 令和8年9月8日（火） 開始10:00 終了15:30】

時刻	所要時間	内容
10:00～12:10	130分 講義 及び 演習 *演習前 休憩 10分含む	「コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法」 講師 山田亜由美（認知症看護認定看護師・吉祥院病院） どのように認知症の人とコミュニケーションをとればよいのか。その人が暮らしてきた生活環境を大切に、施設内での環境、あるいは地域での環境を整え、より穏やかに過ごしてもらうことを考えよう。 （演習）重度認知症の困難症例を提示し、コミュニケーションの取り方、医療チームでの対応の仕方等を、ディスカッションを通して考える。
12:10～13:10	60分 *セミナー 30分	ランチョンセミナー（大塚製薬株式会社協賛） 「FACEDUOで新たな気づきから行動変容へ ～認知症ケア、フレイル予防支援VR紹介～」 講師：大塚製薬株式会社 デジタル事業室 手島 和 様
13:10～15:20	130分 講義 及び 演習  *演習前 休憩 10分含む	「行動・心理症状（BPSD）、せん妄の予防と対応法」 講師 辰巳弥生（認知症看護認定看護師・洛和会音羽病院） 認知症の人をケアする上で一番の問題とも言えるのは、BPSD、せん妄等であろう。しかし、それは認知症の人にとっての問題ではなく、周囲にとって大きな問題であるのかもしれない。ケアのレベルアップによって、これらの問題はどうか変わっていくのかを考えよう。 （演習）参加者各自がBPSD、せん妄の対応の困難事例についてディスカッションを通して考える。
15:20～15:30	10分	閉講挨拶・アンケート記入・事務連絡

【 ラボール京都（公益財団法人京都労働者総合会館） 】

※両日程同会場

住所：京都市中京区壬生仙念町30-2（四条通り御前西入る）

電話：075-801-5311

<阪急電車> 京都線西院駅下車 南改札口より東へ徒歩約1分

<京都市営地下鉄> 東西線西大路三条駅 下車徒歩約15分

<嵐電（京福電車）> 嵐山線西院駅 下車東へ徒歩約1分

※駐輪場・駐車場はございません。交通機関等をご利用の上、お越しく下さい。

